

普及現地情報



発信年月日：令和3年（2021年）6月16日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C21005
部門分類：170（花き）
発信者名：村木

需要に合わせた出荷に向け中輪ギク栽培研修会を開催

6月8日、少量土壌培地耕による組花加工用中輪ギク栽培農家を対象に、盆前の需要に合わせての出荷と切り花品質の確保を目的に、現地ほ場において栽培研修会を開催しました。当日は生産者11名が参加され、栽培後半の注意点等について理解を深められました。

近年の切り花の需要は組花加工用を中心に増加しており、この加工用の実需に対応した小ギクや中輪ギク、リンドウ等を推進しています。甲賀地域では、8経営体が加工用中輪ギクの少量土壌培地耕による栽培に取り組まれています。

加工用切り花については、実需者である組花加工業者が求める時期に出荷することが最も重要です。今回の研修会では、高い需要が見込まれる盆前のお出荷となるように開花調整（照明による日長時間の調整）について説明しました。また、現地ハウスを見学し、それぞれの生育状況について活発な意見交換が行われました。

今後は、現地巡回の実施と7月の出荷前目合わせ会開催により、良品が花き卸売市場に出荷されるよう、JAと連携し支援を行っていきます。



栽培管理の留意点等について説明



生育状況等について意見交換